

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 863

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	介護特会	科目	4. 地域支 - 1. 介護予 - 1. 介護予 現年		
事業名	通所型介護予防事業				
細事業名	通所型介護予防事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	小林 早苗

## 1. 事業の概要

運動機能低下の特定高齢者に対し、週1回筋力アップのトレーニング教室を実施。運動指導士・理学療法士等専門家の指導により筋力アップを図る。また「元気はつらつ教室」を開催し歯科衛生士・栄養士等の指導により口腔機能の向上や、栄養・運動などの生活習慣の改善を図った。「脳トレーニング教室」は、脳を活性化ゲームを中心とした教室で、認知症の予防を目的に実施した。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者が自立した生きがいのある生活を続けていく為に、要介護状態の危険性のある高齢者を、特定高齢者把握事業で早期に発見し、特定高齢者が事業に参加することで要介護状態の予防を図る。

### ② 事業を実施する必要性

本市においては、高齢化が進んでおり、本事業を実施することで、健康寿命の延伸を図り、生きがいのある自立した元気な老後を過ごしていただく為に必要である。結果として介護保険料の負担軽減への効果も期待される。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円		2,053	3,329	2,941	3,612	4,422	4,555
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		552	846	750	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円		0	999	882	1,083	1,326	1,366
国・府支出金	千円		0	1,248	1,102	1,354	1,658	1,708
地方債	千円		0	0	0	0	0	0
一般財源	千円		2,053	1,082	957	1,175	1,438	1,481
職員等の従事人員	人/年	—	0.66	0.69	0.80			
人件費	千円	—	3,870	4,841	4,816			
事業費総額	千円	—	5,371	7,324	7,006			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

元気はつらつ教室	222,749円	(賃金 消耗品)
いきいき筋トレ教室	2,545,934円	(賃金 報償費 消耗品 委託料)
脳トレーニング教室	166,090円	(報償費 需用費)

## 5. 事業結果の概要

<元気はつらつ教室>  
 口腔機能の維持・改善につながった。  
 <いきいき筋トレ教室>  
 特定高齢者の運動機能の維持や改善が見られ、介護予防がはかれた。  
 <脳トレーニング教室>  
 積極的に認知症予防に取組み、生きいきとした生活に結びつけることができた。

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

教室参加対象者を工夫することで参加率アップにつながった。  
高齢化に伴う認知症増加が社会問題となっている。介護予防事業の充実が必要である。  
包括支援センターや高齢福祉課と連携の中、事業を推進していきたい。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

健診後のフォローとして実施した「元気はっらっ教室」について、参加者が数名と大変参加率が低調で対費用効果が低いと思われる。各保健センターで実施したが、実施箇所を集約するなどして効率化を図る必要がある

##### ■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
運動機能の向上や口腔ケアの評価等、ケアプランの作成を委託する包括支援センター並びに運動指導士と打ち合わせを重ねた。  
②当該事業のアピール事項  
参加者が比較的少ないにもかかわらず、対象者が高齢のため、出来るだけ近くの会場で参加していただけるよう8会場設けた。